Kenko

ケンコー フィルムスキャナー

KFS-1450

取扱説明書

このたびはフィルムスキャナー「KFS-1450」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管してください。

目次

はじめに

このたびは、フィルムスキャナー「KFS-1450」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

■本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、
当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、
あらかじめご了承ください。

■取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。

■本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。

■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。

■製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。

■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

■液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、
画素欠けや常時点灯があります。使用部品メーカーの保証値となります。また記録される画像には影響されません。

安全上のご注意　必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

⚠危 険	⚠警 告	⚠注 意
この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 危 険

■可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火･爆発の原因となります。

■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。

■本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

⚠ 警 告

■本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。

■本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。

■本製品に何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。

■感電の恐れがありますので、濡れた手で本製品を触らないでください。

■本製品の分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。

■本製品を使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。

安全上のご注意　必ずお読みください。

⚠ 警 告

■小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にフィルムスキャナーを放置しないでください。

■ケーブルが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。

■ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

⚠ 注 意

■本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。

●砂、ほこり、ちりの多い場所　●火の近く　●湿ったところ　●振動の激しい場所　●温度・湿度の変化が激しい場所

■車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので、使用および保管は避けてください。

■フィルムスキャナーを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。

■電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。

■本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。

■本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。

■ケーブル等を持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

■スキャンするフィルム、撮影条件等によりデータ容量が異なります。

■本製品の液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニングクロスで拭き取ってください。

■ラジオやテレビのお近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品の紹介

セット内容

パッケージに、以下のセット内容が揃っているかご確認ください。

スキャナー本体

マウント用ホルダー

6コマ用ホルダー

取扱説明書（本書）

ACアダプター
（形状が異なる場合があります）

USB接続ケーブル

HDMI接続ケーブル

TV接続ケーブル

清掃用ブラシ

本製品の紹介

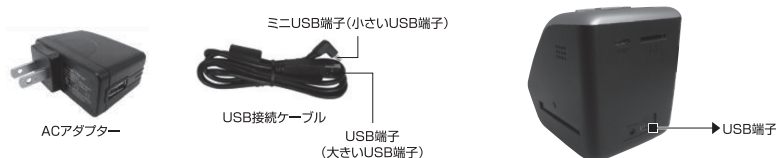
各部の名称

ご使用の前に

電源（ACアダプター）の取り付け

フィルムスキャナー（以降スキャナーと記載します。）と付属のUSB接続ケーブルを使用して付属のACアダプターに接続します。

USB接続ケーブルとACアダプターの取り付けは、ここに示す方法で行ってください。
取り付け方法が正しくないと、スキャナーが破損したり、火災の原因になることもあります。

1. ACアダプターをコンセントに接続します。
2. ミニUSB端子（小さい方）をスキャナーのUSB端子に接続します。
3. USB接続ケーブルの大きい方をACアダプターに差し込みます。ACアダプターの緑色インジケーターが点灯します。

● 付属のUSB接続ケーブルでパソコンとスキャナーを接続するとパソコンから電源が供給されます。
パソコンによっては十分な電力供給ができない場合があります。

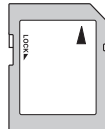
電源のオン／オフ

電源ボタンを押します。電源がオンになり
青色の電源インジケーターが点灯し、液晶モニターが表示されます。

再度、電源ボタンを押すと電源がオフになります。

ご使用の前に

SD/SDHCメモリーカード(別売)を使用する場合

本製品でスキャンした画像は、SDメモリーカードに記録されます。
SDメモリーカード(別売)をスキャナー裏面のSDカードスロットにセットしてください。
スキャン画像がSDメモリーカードに記録されます。

SDメモリーカード

● このスキャナーに使用できるメモリーカードの仕様は、SDメモリーカード 32MB〜2GB、SDHCメモリーカード 4GB〜32GBです。
その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。

● 内蔵メモリーは約14MBです。

SD/SDHCメモリーカードを取り付ける

SDメモリーカードはスキャナー裏面のSDカードスロットにセットします。

1. 電源オフを確認してからSDメモリーカードの接触面が下になるようにして、SDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
2. SDメモリーカードを取り外す時は、SDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。SDメモリーカードが少し飛び出ます。

SDカードスロット

◆ 新しいSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめSDメモリーカードの初期化(P.11参照)をしてください。

◆ スキャンした画像に付けられるファイル名(PICT○○○○)は、SDメモリーカード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。番号をリセットする場合は、SDメモリーカードの初期化(P.11参照)でカードをリセットしてください。

● 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。
無理に挿入しないでください。

● SDメモリーカードをスキャナー本体から着脱する場合は、必ずスキャナーの電源をオフにした状態で行ってください。

● すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。

● microSD、miniSDメモリーカードのアダプターでの使用は、動作不良の原因となりますのでお勧めいたしません。

SD/SDHCメモリーカードを使用する前に

◆新しいSDメモリーカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。

◆SDメモリーカードをセットすると、スキャナーはSDメモリーカードを認識します。

◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.3～5に記載されていますので必ずよくお読みください。

●パソコンに接続、データ転送中や、スキャン/再生中にSDメモリーカードを引き抜かない
パソコンとスキャナーを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモリーカードをスキャナーから引き抜かないでください。スキャンした画像データ、SDメモリーカードおよびスキャナー本体が破損する恐れがあります。

●SDメモリーカードのフォーマット(初期化)はスキャナーで行ってください。
本製品にはSDメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。

●ライトプロテクトスイッチについて
SDメモリーカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDメモリーカードはロックされ、SDメモリーカードへの記録/消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録/消去する場合はロックを解除してください。

ライトプロテクト
スイッチ

◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。

ファイル名/ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、
外のファイルを書き込まないでください。フィルムスキャナーで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。

● SDメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、フィルムスキャナーの誤作動など障害が起こる恐れがあります。

● SDメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

● SDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。)

● 電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。

SDメモリーカードのフォーマット

メモリーをフォーマット（初期化）する機能です。

- SDメモリーカードをこのスキャナーで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。（パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。）
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチ（P.10参照）でロックしている場合、フォーマットは行われません。

1. SDメモリーカードを挿入します。
2. 電源をオンにします。
3. メインメニューが表示されます。右または左ボタンを押して「設定 」を選択し、OKボタンを押し、設定モードにします。
4. 右または左ボタンを押して「メモリー 」を選択し、OKボタンを押します。CONFIRM FORMAT?（フォーマットしますか?）が表示されます。
5. 右または左ボタンを押して「 」または「 」を選択し、OKボタンを押し決定します。

   フォーマット：フォーマットします。

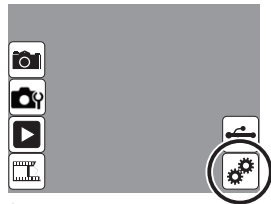
   キャンセル　：フォーマットしません。
6. メインメニューに戻ります。

- SDメモリーカードが本体にセットされている場合は、SDメモリーカードがフォーマットされます。SDメモリーカードがセットされていない場合は、内蔵メモリーがフォーマットされます。
- フォーマットした場合、ファイル番号は「PICT0001」にリセットされます。パソコン内に同一番号のファイル名がある場合、パソコンに取り込むと上書き保存されますのでご注意ください。

3.

4.

5.

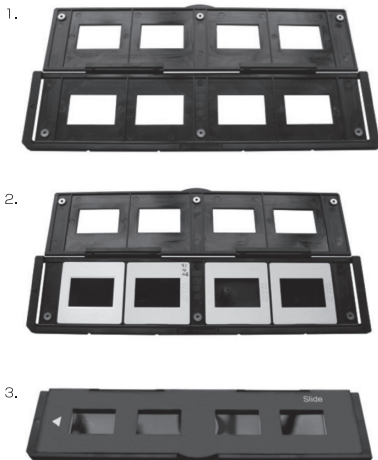
CONFIRM　FORMAT ?

フィルムホルダーにフィルムを取り付ける

マウント用ホルダーにセットする

1. マウント用ホルダーを開きます。
2. マウントされたリバーサル(ポジ·スライド)フィルムを装着します。
3. マウント用ホルダーを閉じます。

1.

2.

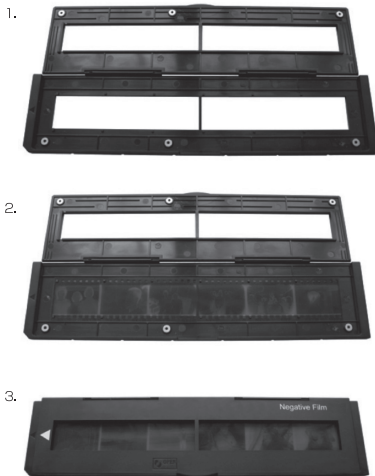
3.

◆ マウント用ホルダーのSlideの文字を右上にして(写真3.参照)スキャンする写真の上下、表裏に注意してセットしてください。

6コマ用ホルダーにセットする

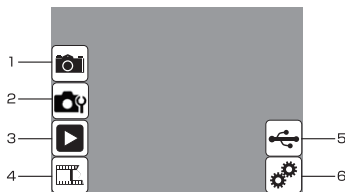
1. 6コマ用ホルダーを開きます。
2. ネガフィルムを装着します。
   ホルダーの突起とパーフォレーション（穴）を合わせます。
3. 6コマ用ホルダーを閉じます。

1.

2.

3.

◆ マウントされていないリバーサル（ポジ・スライド）フィルムも、この6コマ用ホルダーを使用します。
◆ 6コマ用ホルダーのNegative Filmの文字を右上にして（写真3.参照）スキャンする写真の上下、表裏に注意してセットしてください。

メインメニュー

メインメニューの画面表示

1		スキャンモード	フィルムをスキャンして画像(デジタル)データを作成します。
2		スクラッチモード	フィルムに傷がある場合選択します。自動で傷を補正します。P.25をご覧ください。
3		再生モード	画像データを再生します。フォトフレームのようにスライドショーします。P.26をご覧ください。
4		フィルム選択モード	スキャンするフィルムの種類(ネガ･リバーサル･白黒)を選択します。P.16をご覧ください。
5		USBモード	パソコンと接続してスキャンした画像をパソコンに取込みます。P.29をご覧ください。
6		設定モード	各種の設定をします。P.30をご覧ください。

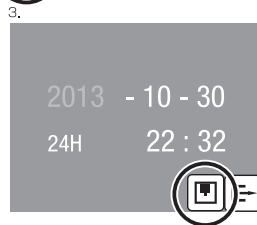
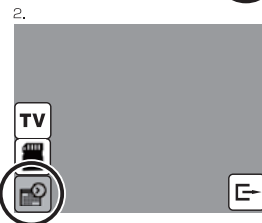
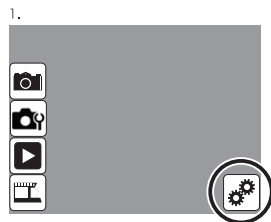
◆ 古いフィルムをスキャンする場合、稀にフィルムが破損することがあります。写真店等で複製してからスキャンすることをお勧めします。
◆ フィルムホルダーから侵入したホコリ等がフィルムと共にスキャンされる場合がありますのでスキャナー挿入前に清掃してください。
◆ フィルムセンサーバックライトを付属の清掃用ブラシで定期的に拭いてください。清掃用ブラシで取れない汚れは、乾いたノンアルコール綿棒で拭いてください。
◆ 冬場は特に、静電気の発生によりホコリ等が付着しやすくなりますのでご注意ください。

日付／時刻の設定

必要に応じて、日付／時刻を設定します。
銀塩フィルムの撮影日時が特定できる場合やスキャンした日付等で管理する場合に設定できます。

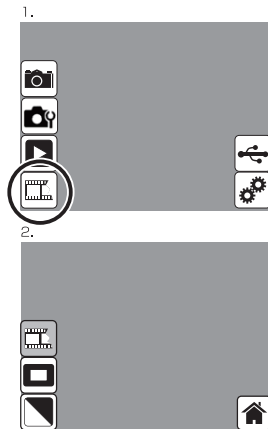
電源をオンにします。

1. 右または左ボタンを押して「設定 」を選択し、
   OKボタンを押し、設定モードにします。
2. 右または左ボタンを押して「日付／時刻 」を選択し、OKボタンを押します。
3. 黄色く表示された数値を、右または左ボタンを押して数値を合わせます。
   数値を合わせた後、OKボタンを押すと次に設定する項目へ移動します。
4. 全ての数値を合わせを終了したら「保存 」を選択し、
   OKボタンを押すと日付／時刻が設定されます。

◆ 日付／時刻は、ファイルデータとして記録されます。
◆ 日付／時刻を設定しない場合は、「2005-01-01」等、
あるいは前回設定した日付となります。

フィルムをスキャンする

フィルム選択モード

スキャンするフィルムの種類を設定します。

1. メインメニューから右または左ボタンを押して「フィルム選択モード 」を選択し、OKボタンを押します。
2. 右または左ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押し決定します。
   - ネガ　　：ネガフィルム（一般的なフィルムです。）
   - スライド：リバーサル（ポジ・スライド）フィルム
   - 白黒　　：白黒フィルム（白黒ネガフィルムのみ対応）
   - ホーム　：メインメニューに戻ります。
3. スキャンモードになります。

フィルムをスキャンする

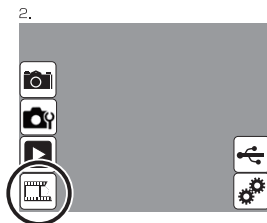
スキャンモード

フィルムをスキャンして画像(デジタル)データを作成します。

1. フィルムホルダーにフィルムを装着(P.12～13参照)して
   フィルムホルダーの◀印を上にしてフィルムホルダースロットに挿入します。
2. 右または左ボタンを押して「フィルム選択モード」を選択します。
   「フィルム選択モード」はP.16をご覧ください。
3. 液晶モニターの左上に赤丸が点滅し、キャプチャモードになります。
   必要に応じて色彩調整をします。P.18をご覧ください。
   OKボタンを押すとスキャンを開始し、砂時計が表示されます。
4. スキャンされた画像が液晶モニターに表示されます。
5. 再度OKボタンを押すと保存されます。P.21「画像の保存」をご覧ください。
6. スキャンモードに戻ります。

2.

4.

5.

● フィルムの撮影状況等によっては色彩調整をしても意図した色味と異なる場合があります。

◆ スキャンされた画像は、銀塩フィルムとイメージセンサーのアスペクト比(縦横比)の違いから4200×2800サイズのJPEG形式で保存されます。
◆「ホームアイコン」を選択するとメインメニューに戻ります。

色彩調整の設定

スキャンする写真の明るさ･色調調整ができます。

1. キャプチャモード時に左ボタンを押します。

1.

〈明るさを調整する場合〉

A-1. 右ボタンを押します。

A-2. 左ボタンを押します。

A-3. 左ボタンを押すごとに+1→+2→+3と明るくなります。
右ボタンを押すごとに−1→−2→−3と暗くなります。

A-4. OKボタンを押します。

A-5. 再度OKボタンを押してスキャンします。

A-3.

〈色調調整をする場合〉

B-1. 右ボタンを押します。

B-2. 右ボタンを押します。

B-3. 左ボタンを押します。
赤地に白文字で左ボタンを押すごとに+1→+2→+3とR(赤色系)調整します。
右ボタンを押すごとに−1→−2→−3とR調整します。
OKボタンを押します。

B-4. 緑地に白文字で同様にG(緑色系)調整します。
調整してOKボタンを押します。

B-5. 青地に白文字で同様にB(青色系)調整します。
調整してOKボタンを押します。

B-6. 再度OKボタンを押してスキャンします。

B-3.

〈明るさと色調の両方を調整をする場合〉

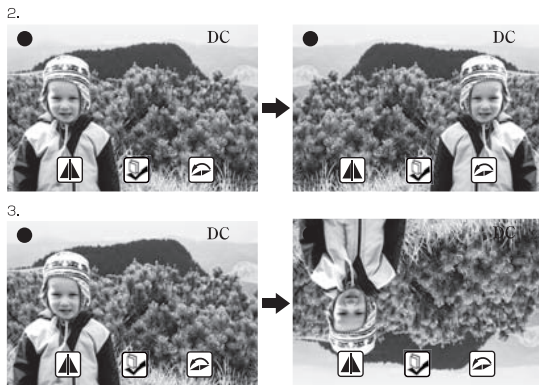
C-1. 明るさを調整してOKボタンを押します。

C-2. 左ボタンを押します。

C-3. 右ボタンを2度押してB-3から色調を調整します。

画像反転の設定

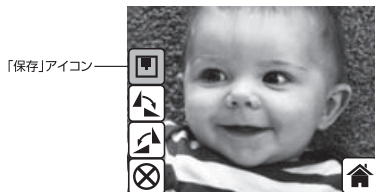
スキャンした画像の回転･反転の設定ができます。

1. キャプチャモード時に左ボタンを押し、再度左ボタンを押すと画像反転の設定ができます。
2. 左ボタンを押すと左右反転します。
   再度、左ボタンを押すと元に戻ります。
3. 右ボタンを押すと天地反転します。
   再度、右ボタンを押すと元に戻ります。
4. OKボタンを押して決定します。
5. 再度OKボタンを押してスキャンします。

編集メニュー

スキャンした画像が液晶モニターに表示中に、右または左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押します。

1	保存	ファイルを保存します
2	右回転	画像を右へ90度回転します。P.21をご覧ください。
3	左回転	画像を左へ90度回転します。P.21をご覧ください。
4	キャンセル	ファイルを保存しません。P.22をご覧ください。
5	ホーム	メインメニューに戻ります。P.22をご覧ください。

画像の保存

スキャンした画像が液晶モニターに表示中に
右または左ボタンを押して「保存 」アイコンを選択してOKボタンを押すと保存されます。
SDメモリーカードが挿入中はSDメモリーカードに保存されます。
SDメモリーカードが挿入されていない場合は内蔵メモリーに保存されます。

画像の回転

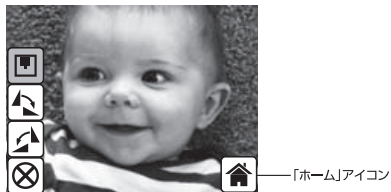
スキャンした画像が液晶モニターに表示中に左または右ボタンで「左回転 」または「右回転 」を選択します。
OKボタンを押すと90度回転します。
「保存 」を選択し、OKボタンを押すと画像は元に戻りますが、90度回転して保存されます。

フィルムをスキャンする

キャンセル

スキャンした画像または編集中の画像を表示中に
右または左ボタンを押して「キャンセル ⊗ 」を選択し、OKボタンを押すと
ファイルを保存せずにキャプチャーモードに戻ります。

ホーム

スキャンした画像または編集中の画像を表示中に「ホーム 🏠 」を選択し、OKボタンを押すと
「メインメニュー」に戻ります。

メモリーフル

内蔵メモリー、またはSDメモリーカードが一杯になると、液晶モニターに アイコンが表示されます。
画像ファイルをパソコンにコピーしてからSDメモリーカードをフォーマットするか、新しいSDメモリーカードをセットし保存してください。

カードロック

スキャンした画像を保存する際、SDメモリーカードがロック（ライトプロテクトスイッチ）されていると保存ができません。
液晶モニターに アイコンが表示されます。
SDメモリーカードを取り出し、SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチを解除し、再度本体にセットしてください。

◆ ライトプロテクトスイッチはP.10「SD/SDHCメモリーカードを使用する前に」をご覧ください。

フィルムをスキャンする

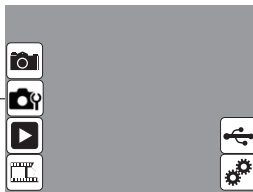
エラー

不具合のあるSDメモリーカードを装着すると
スキャンした画像を保存する際、液晶モニターに ? アイコンが表示されます。
SDメモリーカードをフォーマットするか新しいSDメモリーカードをフォーマットしてセットしてください。

● すべてのSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。P.9～11をご覧ください。
● 他の機器で使用した（データの残っている）SDメモリーカードでもエラー表示が出る場合があります。

スクラッチモード

フィルムに傷がある場合、スクラッチモードを使用するとスキャン時に傷を軽減することができます。

1. 右または左ボタンを押して「スクラッチモード 」を選択します。
2. 液晶モニターの左上に赤丸が点滅し、キャプチャモードになります。
   OKボタンを押すとスキャンを開始し、砂時計が表示されます。処理に多少の時間がかかります。
3. 「スクラッチモード」でスキャンされた画像が液晶モニターに表示されます。
4. 再度OKボタンを押すと保存されます。

◆ フィルムの傷の状態により補正できない場合もあります。あらかじめご了承ください。

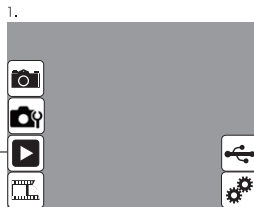
◆ スクラッチモードは、ネガフィルム専用です。リバーサル(ポジ・スライド)フィルムは使用できません。あらかじめご了承ください。

再生モード

画像の再生

SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を液晶モニターに表示します。

スライドショー

1. メインメニューから右または左ボタンを押して、
   「再生モード ▶ 」を選択し、OKボタンを押します。
2. SDメモリーカード内に保存された画像を
   約2秒間隔で液晶モニターに表示します。
   SDメモリーカードがセットされていない場合は、内蔵メモリー内に
   保存された画像を表示します。
3. 画像表示中にOKボタンを押すとスライドショーを終了します。
4. 再度OKボタンを押すと「画像編集モード」になります。

◆ スライドショーが開始されるとスライドショーアイコンは消えます。
◆ 画像編集モードはP.27をご覧ください。

再生モード

画像編集モード

保存された画像の簡単な編集をします。「画像編集モード」を表示(P.26 スライドショーをご覧ください)し、
右または左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押します。

1	右回転	画像を右へ90度回転します。
2	左回転	画像を左へ90度回転します。
3	左右反転	画像を左右に反転します。
4	上下反転	画像を天地に反転します。
5	戻る	再生画面に戻ります。
6	削除	表示されたファイルを削除します。
7	保存	編集したファイルを上書き保存します。
8	ホーム	メインメニューに戻ります。

!

- ファイルは、一度削除すると元には戻りません。削除する前によく確認し、必要に応じてバックアップを取ってください。
- 編集したファイルは上書き保存されますのでご注意ください。

画像ファイルがない場合

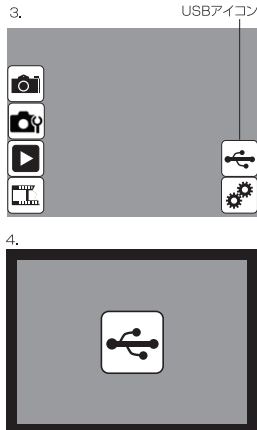
内蔵メモリーまたはSDメモリーカードに保存されている画像ファイルがない場合は、液晶モニターに ? アイコンが表示されます。

USBモード

スキャナーをパソコンに接続してデータを取込みます。

1. KFS-1450と付属のUSB接続ケーブルでパソコンに接続します。
   ミニUSB端子（小さい方）をスキャナーのUSB端子に接続してから、
   もう一方の大きいUSB端子をパソコンのUSB端子に接続します。
2. 電源をオンにします。
3. 右または左ボタンを押して「USB 」アイコンを選択し、OKボタンを押します。
4. 液晶モニターに アイコンが表示されます。
   はじめてパソコンにKFS-1450を接続すると
   パソコンのモニターに「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と
   小さく表示され、しばらくすると「デバイスを使用する準備が出来ました」と
   小さく表示されます。
5. 「スタート」→「コンピューター」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→
   「100DVCAM」の順にクリックします。データは「100DVCAM」に保存されています。

3.

4.

◆ USBモードを選択すると、USB接続コードでパソコンと接続することにより、内蔵メモリーまたはSDメモリーカードに保存された画像をパソコンに保存することができます。

◆ パソコンが本製品を検出してから、画像の保存をします。

◆ ドライバのインストールは不要です。

◆ P.34「パソコンに接続する」をご覧ください。

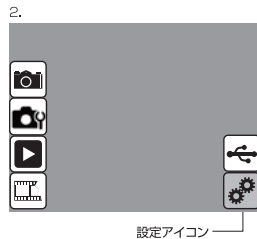
● パソコンのUSB端子の位置は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

● お使いのパソコンのOS、構成等により表示は異なります。

設定モード

スキャナーの様々な設定を行います。

1. 電源をオンにします。
2. メインメニューから右または左ボタンを押して「設定 」アイコンを選択し、OKボタンを押します。

2.
設定アイコン

テレビ出力

スキャナーとテレビを接続して、画像をテレビに表示することができます。
テレビ出力信号をご使用の国·地域に合わせて切り替えます。

1. 設定モードにします。
2. 右または左ボタンを押して「TV 」アイコンを選択し、OKボタンを押します。
3. 右または左ボタンを押して「NTSC 」または「PAL 」を選択し、OKボタンを押します。

NTSC：日本·米国·カナダ·台湾

PAL ：ヨーロッパとアジア（日本·台湾を除く）

2.
3.
◆ NTSC（日本国内）のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がパラパラ流れたり、白黒になったりします。

◆ スキャンした画像のTV出力方式の選択です。スキャン時には関係ありません。

設定モード

フォーマット

「フォーマット 」SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットします。
P.11「SDメモリーカードのフォーマット」をご覧ください。

日付／時刻の設定

P.15「日付／時刻の設定」をご覧ください。

戻る

「戻る 」メインメニューに戻ります。

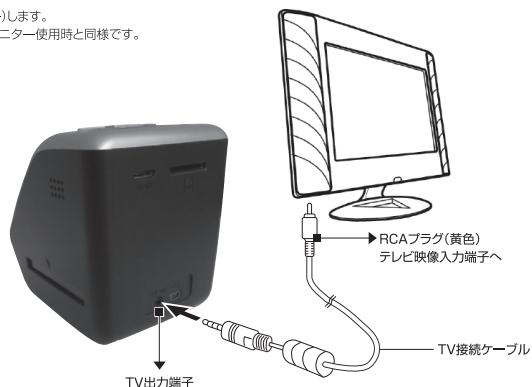
テレビと接続する

付属のTV接続ケーブルを使用して、スキャナーとテレビを接続します。

1. テレビの電源をオンにします。
2. 下図を参考に付属のTV接続ケーブルの3Pプラグ(黒いグリップ)を
   スキャナーのTV出力端子に接続します。
3. RCAプラグ(黄色グリップ)をテレビの映像入力端子に接続します。
4. テレビの入力切替をビデオモードにします。
5. スキャナーの電源をオンにします。スキャナーの液晶モニターは点灯しません。
   テレビにスキャナーの起動画面が表示されます。
6. 画像をテレビで再生(スライドショー)します。
   再生の手順は、スキャナーの液晶モニター使用時と同様です。

RCAプラグ(黄色)
テレビ映像入力端子へ

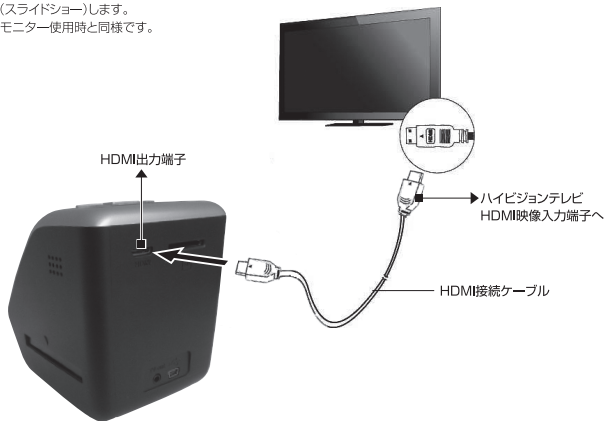
TV接続ケーブル

TV出力端子

◆ テレビの端子位置および操作はお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビとの接続

ハイビジョンテレビと接続する

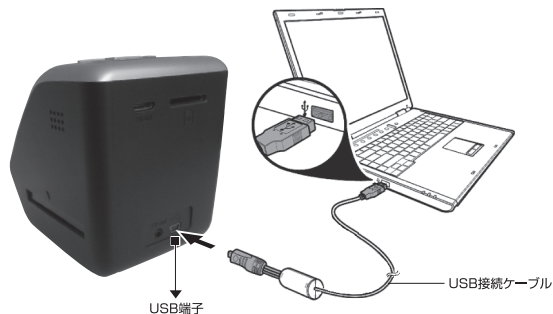
付属のHDMI接続ケーブルを使用して、スキャナーとハイビジョンテレビを接続します。

1. ハイビジョンテレビの電源をオンにします。
2. 下図を参考に付属のHDMI接続ケーブル端子(小さい方)をスキャナーのHDMI出力端子に接続します。
3. HDMI接続ケーブルのもう一方(大きい方)をハイビジョンテレビのHDMI映像入力端子に接続します。
4. ハイビジョンテレビの入力切替をします。
5. スキャナーの電源をオンにします。スキャナーの液晶モニターは点灯しません。
   ハイビジョンテレビにスキャナーの起動画面が表示されます。
6. 画像をハイビジョンテレビで再生(スライドショー)します。
   再生の手順は、スキャナーの液晶モニター使用時と同様です。

◆ ハイビジョンテレビの端子位値および操作はお使いのハイビジョンテレビの取扱説明書をご覧ください。

パソコンとの接続

パソコンに接続する

付属のUSB接続ケーブルを使用して、スキャナーとパソコンを接続し、画像ファイルをパソコンに取り込みます。

1. パソコンの電源をオンにします。
2. 付属のUSB接続ケーブルのUSB端子（大きい方）をパソコンに接続し、
   もう一方の小さいUSB端子（ミニUSB端子）をスキャナーに接続します。
3. スキャナーの電源をオンします。
4. スキャナーを「USBモード」にします。P.29「USBモード」をご覧ください。
5. パソコンが本製品を認識するとSDメモリーカードまたは内蔵メモリー内の画像ファイルをパソコンに取り込みます。
6. 画像ファイルは「スタート」→「コンピュータ」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→「100DVCAM」の中にあります。
7. 終了する場合は、各OSに適した方法で安全に付属のUSB接続ケーブルを外してください。

◆ お使いのパソコンのOS・バージョン等により表示は異なります。
◆ パソコン初心者の方は、SDカードリーダー（別売）の使用をお勧めします。

プリントする

作成した画像をプリントする場合は、パソコンに保存したフォルダから直接プリンタへ出力するか、
CD-ROM等にコピーしてからカメラ店等に依頼してください。
あるいは別売のSDカードリーダを使用してSDメモリーカード(この場合、プリント用SDメモリーカードを別に用意すると
削除や上書き保存のトラブルの防止になります。)にコピーしてカメラ店あるいは家電量販店等のスタンド式プリンターからもプリントできます。

◆ SDメモリーカードに保存した画像をデジタルフォトフレームでお楽しみいただけます。
お使いのデジタルフォトフレームの取扱説明書をご覧ください。

トラブルシューティング

「故障かな?」と思ったらもう一度確認、点検してください。

スキャナー操作時のトラブル

症　状	原　因	対　策
電源が入らない。	電源コードが正しく取り付けされていないのでは?	付属のACアダプターと本体を付属のUSB接続ケーブルで正しく取り付けしてください。(P.8参照)
画像が保存されない。	画像が保存される前に電源やSDカードを取り外したのでは?	画像が保存される前に電源やSDメモリーカードを取り外さないでください。(P.9～11参照)
SDメモリーカードが使用できない。	SDメモリーカードがロックされているのでは?	SDメモリーカードに付いている“ライトプロテクトスイッチ”がロックされているいると、データの記録･消去を行うことができません。ロックを解除してください。(P.10参照)
	SDメモリーカードに、他の画像が含まれているのでは?	SDメモリーカードを本製品でフォーマットしてください。(P.11参照)
すべてのボタンが作動しない。	ソフトウェアおよびハードウェアが何らかの刺激を受けたのでは?	USB接続ケーブルを一度外してください。(P.8参照)
(メモリーフル)と表示される	内蔵メモリーまたはSDメモリーカードが一杯です。	不要な画像を削除する。 または、新しいSDメモリーカードをフォーマットしてご使用ください。
黒い点等の影が映り込む	スキャナー本体の発光板にゴミ等の異物が付着したのでは?	付属の清掃用ブラシで取り除いてください。 冬場は特に静電気が発生し、ゴミが付着しやすくなります。 また、清掃用ブラシを使用する際、撮影したフィルムを誤って擦ると、フィルムにキズがついてしまいますのでお取り扱いに注意してください。

仕様

記録可能枚数の目安

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード
	2GB	4GB
記録枚数	700枚	1400枚

◆スキャンするフィルム、撮影条件等によりデータ容量が一定でないため、記録可能枚数に差が出ます。
上記の表は目安としてご参考ください。

仕様

イメージセンサー	1462万画素 CMOS
焦点距離	固定焦点
液晶モニター	2.4型 TFT
内蔵メモリー	約14MB
外部メモリーカード	SDメモリーカード　：32MB～2GB SDHCメモリーカード：4GB～32GB
露出補正	6段階
色調補正	6段階
スキャン解像度	3000dpi(40×60cmサイズ)
画像形式	JPEG
対応フィルム	カラーネガフィルム 35mm カラーリバーサル(ポジ·スライド)フィルム 35mm 白黒ネガフィルム 35mm
光源	バックライト(白色LED×3)
出入力ポート	USB 2.0 TV出力(Ø3.5mm) NTSC／PAL HDMI出力
電源	ACアダプター
寸法	約91(W)×118(D)×110(H)mm
重量	約260g(付属品を含まず)

■ 同梱品

スキャナー本体、6コマ用ホルダー、スライドマウント用ホルダー
ACアダプター、USB接続ケーブル、TV接続ケーブル、HDMI接続ケーブル、清掃用ブラシ、
取扱説明書

パソコンの動作環境

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

●下記OSがプリインストールされたパソコン
●USBインターフェース(2.0以上)を標準装備したパソコン

Windows対応OS	
XP(SP2) ／ Vista(32bit)／ 7(32bit/64bit)／8(32bit/64bit)	
CPU	Intel Pentium Ⅲ 以上
メモリー	64MB以上
インターフェース	USB2.0

動作保証について

●動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
●Windows OSをアップグレードしたパソコンでは動作保証いたしません。
●USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。
●左記動作環境は、最低限の条件を満した仕様です。ご使用のOSに対応した動作環境が必要になります。